

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査票（令和4年度 事業計画）

資料4・5

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	令和3年8月末現在の進捗状況	令和3年12月末現在の進捗状況	令和4年3月末実績	評価	C判定の理由	令和4年度 事業の方向性	(参考) 令和3年3月末実績
1-1 医療・保健・福祉サービスの提供 ■安全で安心して暮らせるまちづくりの実現 基本目標1	1	母子保健に関する情報提供	○母子健康手帳【情報提供】 ・外国人住民に多言語による母子健康手帳を提供し、産前産後育児に役立てる。 ※本庁舎 子ども相談センターにおいても交付できる。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・ベ・イ	なし	なし	母子保健課	発行数19冊(英語:7冊 ベトナム語:6冊 中国語:3冊 スペイン語:1冊 ハンダ語:1冊 タイ語:1冊) ※R3年8月末現在 翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	発行数33冊(英語:10冊 ベトナム語:8冊 中国語:5冊 スペイン語:1冊 ハンダ語:1冊 タイ語:1冊 ポルトガル語:1冊) ※R3年12月現在 翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	発行数44冊(英語:21冊 ベトナム語:12冊 中国語:7冊 スペイン語:1冊 ハンダ語:1冊 タイ語:1冊 ポルトガル語:1冊) ※R4年3月現在 翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	B		継続	発行数52冊(英語:26冊、ベトナム語:10冊、中国語:7冊、タガログ語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語:各2冊、スペイン語:1冊) 多言語による母子健康手帳を提供するとともに、翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。
			○乳幼児健診問診票【情報提供】 ・外国人住民に多言語による問診票を提供し、正しい問診ができるようにする。 ※3か月、1歳6か月、2歳児歯科、3歳	英・中・韓・ポ・ス	なし	なし	母子保健課	健診会場で外国語版問診票による問診を行うことに加え、翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	健診会場で外国語版問診票による問診を行うことに加え、翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	B		継続	会場で外国語版問診票による問診を行うことに加え、翻訳ソフト「ボイストラ」の配置があり、活用している。	
			○甲府市民健康ガイドの予防接種ページ案内【情報提供】 ・外国人住民に英語によるチラシを提供し、正しい予防接種の知識を周知する。	英	なし	なし	医務感染症課	必要に応じて英語によるチラシを渡して説明した。4件	必要に応じて英語によるチラシを渡して説明した。8件	B		継続	必要に応じて英語によるチラシを渡して説明した。15件	
			○予防接種予診票【情報提供】 ・外国人住民に多言語による予診票を提供し、適切に予防接種を受けられるようにする。 ・予防接種の未接種者の把握を行い、訪問や健診の際に保健師が翻訳された資料等を利用しながら、未接種者への説明、支援を継続していく。	英・中・韓・ポ・ス・タイ	なし	なし	医務感染症課	外国人転入者等に対し保護者の希望に応じて母国語等の予診票を渡した。4件	外国人転入者等に対し保護者の希望に応じて母国語等の予診票を渡した。8件	B		継続	外国人転入者等に対し保護者の希望に応じて母国語等の予診票を渡した。18件	
	2	子ども・子育てに関する情報提供	○甲府市子育てガイドブック等の配布【情報提供】 ・妊娠、出産、出産費用、医療、健康相談、乳幼児期からの経済的支援、保育所と幼稚園の違いなどの情報提供を行う。また、相談窓口等の主要部分について、外国語に訳した資料を必要に応じて添付する。	英・中・韓・ポ・ス	なし	なし	子育て支援課	必要に応じて配布する資料が準備してあるが、配布実績は今のところない。	必要に応じて配布する資料が準備してあります。(実績はありませんでした)「やさしい日本語」につきましては主要な部分について作成しました。	甲府市子育てガイドブック配布時に、相談窓口等の主要部分について、英・中・韓・ポ・スに対応した資料を、必要に応じて添付している。	B		継続	甲府市子育てガイドブック配布時に、相談窓口等の主要部分について、英・中・韓・ポ・スに対応した資料を、必要に応じて添付している。
			○国民健康保険制度の周知【情報提供】 ・外国人被保険者に多言語のチラシを提供し、国民健康保険制度に対する理解を図る。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	対応	配布用パンフレットとして、(一財)自治体国際化協会の資料を活用	健康保険課	職員はやさしい日本語での対応を心がけるとともに、日本語が理解できない方には、市民課受付係等の外国語を話せる職員との連携を図っている。 また、自治体国際化協会が作成したパンフレットは多言語に対応しているため活用している。 配布数:22件 (英10、中11、ベ1)	職員はやさしい日本語での対応を心がけるとともに、日本語が理解できない方には、市民課受付係等の外国語を話せる職員との連携を図っている。 また、自治体国際化協会が作成したパンフレットは多言語に対応しているため活用している。 配布数:90件(英22、中32、ポ3、ス4、タ2、独1、ベ26) なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外国人の新規入国制限により、外国人被保険者数が大幅に減少している。	B		継続	職員はやさしい日本語での対応を心がけるとともに、日本語が理解できない方には、市民課受付係等の外国語を話せる職員との連携を図っている。 また、自治体国際化協会が作成したパンフレットは、多言語に対応しているため活用した。 配布数:227件 (英56、中99、韓2、ポ10、ス1、タイ13、ベト30、露8、インドネシア6、独1、仏1)	
	3	国民健康保険等の情報提供	○外国人が受診しやすい体制の整備を図るため、集団健診会場に通訳対応職員を配置する。	英・中・韓	対応	市民課外国人相談担当	健康保険課	4月に全戸配布した「甲府市民健康ガイド」に、集団健診会場で外国語通訳が必要な方への案内を掲載した。 なお、8月までに計11回の集団健診を行ったが、外国語通訳を必要とする方はいなかった。	4月に全戸配布した「甲府市民健康ガイド」に、集団健診会場で外国語通訳が必要な方への案内を掲載した。 なお、12月までに計36回の集団健診を行ったが、外国語通訳を必要とする方はいなかった。	4月に全戸配布した「甲府市民健康ガイド」に、集団健診会場で外国語通訳が必要な方への案内を掲載した。 なお、3月までに計37回の集団健診を行ったが、外国語通訳を必要とする方はいなかった。	B		継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、健診の中止や会場変更を行ったため、当初予定していた通訳対応職員を配置する必要がなくなった。
			○健診自体を知らない外国人が多く、健診を受診しない(できない)状況となっていることから、案内チラシの作成及び配布を検討するとともに、やさしい日本語会話・異文化体験サロンなどの機会を利用して直接外国人へのPRを行う。	英・中・韓	対応	市民課外国人相談担当	健康保険課	4月の特定健診受診券発送時に3か国語(英・中・韓)対応の受診案内チラシを同封した。 12月に開催された「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」にて健診の受診動員を行い、1名の申込みがあった。	4月の特定健診受診券発送時に3か国語(英・中・韓)対応の受診案内チラシを同封した。 12月に開催された「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」にて健診の受診動員を行い、1名の申込みがあった。	4月の特定健診受診券発送時に3か国語(英・中・韓)対応の受診案内チラシを同封した。 今年度のやさしい日本語会話・異文化体験サロンは3密を避ける観点から国民健康保険課職員の参加を見送った。	A		継続	
	4	介護保険制度の周知	○介護保険のしくみ【情報提供】 ・介護保険証発送時に、多言語による介護保険のしくみについての説明書を同封し、制度の周知をする。	英・中(簡)・中(繁)・韓・ポ・ス	なし	市民課外国人相談担当、配布パンフレットに(一財)自治体国際化協会の情報を活用	介護保険課	12人に同封	20人に同封	33人に同封 ※前年度より人数が減少しているのは対象者が減ったためであり対象者には全員パンフレットを同封している。また、来庁者で英語圏の方には、滞納整理係の職員が(英語で)説明している。	A		継続	41人に同封

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査票（令和4年度 事業計画）

資料4・5

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	令和3年8月末現在の進捗状況	令和3年12月末現在の進捗状況	令和4年3月末実績	評価	C判定の理由	令和4年度 事業の方向性	(参考) 令和3年3月末実績	
■安全で安心して暮らせるまちづくりの実現 基本目標1	5	外国人市民の健康づくり支援	○健康づくり ・情報活性化モデル地区（新田地区）が開催する健康相談会への協力及び支援 ・国民健康保険の集団健診時における通訳者を派遣する。	①英・中・韓 ②英・中・韓及び音声通訳アプリ（全10言語：英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン）	対応	賈川団地桜ヶ丘自治会連合会	市民課	・実施主体であるモデル地区において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせている。 ・8月末現在、健康保険課からの派遣依頼の実績はない。	令和4年度に次のことを実施できるよう、調整している。 ・情報活性化モデル地区（新田地区）の健康相談会に、市民課外国人相談員が参加し多言語対応をする ・上記相談会において、集団検診への通訳者派遣をPRするとともに、集団検診申込の受付をする	令和4年度の実施に向けて、地域保健課と調整した。	B		継続	①モデル地区において開催する「青空診療所」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催しなかった。 ②国民健康保険の集団健診については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となった。9月には、集団健診の会場を健診機関へと変更して実施したが、通訳者の派遣は取りやめた。	
		6	医療機関における多言語対応（継続）	○医事課で管理する翻訳機（ポケットーク）2台を利用し、患者への説明・聞き取り等を行っている。	英語、中国語、韓国語、ベトナム語を主に使用	なし	なし	医事課 (市立甲府病院)	翻訳機（ポケットーク）の最上位機種を利用し、毎月2～3名の患者に対応している。操作しやすいため医師からも好評を得ている。 翻訳機を介しても、意思の疎通ができない場合の対応としては、 【入院】患者の家族・友人等で通訳できる方を通じて、患者との意思疎通を図っている。 【外来】病状の悪化等を考慮し、原則通訳の付き添いをお願いしている。	現在も毎月2～3名の対応があり、特にベトナム人の対応が多いが、翻訳機（ポケットーク）を利用し、基本的な意思疎通はできている。 【入院】患者の家族・友人等で通訳できる方を通じて、患者との意思疎通を図っている。 【外来】病状の悪化等を考慮し、原則通訳の付き添いをお願いしている。	現在も毎月2～3名の対応があり、特にベトナム人の対応が多いが、翻訳機（ポケットーク、ボイストラ）を利用し、基本的な意思疎通はできている。なお、ウクライナ語にも対応可能である。 出産等についてはAIMY（やまなし医療通訳研究会）に依頼し、医療通訳を手配した。	S		継続	翻訳機（ポケットーク）の最上位機種を利用し、毎月2～3名の患者に対応している。
	1-2	1	外国人市民に関する防災・防犯対策の推進	○わが家の防災マニュアル【情報提供】 ・「わが家の防災マニュアル外国語版」を市民課へ設置。（転入者等へ配付）	英・中・韓・ポ・タ	対応	なし	防災企画課	市民課へ設置し、転入者等へ配付 英語：1部、中国語：1部 韓国語：1部、ポルトガル語：1部 タガログ語：1部	市民課へ設置し、転入者等へ配付 英語：8部、中国語：6部 韓国語：7部、ポルトガル語：6部 タガログ語：6部	市民課へ設置し、転入者等へ配付 英語：17部、中国語：8部 韓国語：31部、ポルトガル語：8部 タガログ語：9部	A		継続	配布数 約40部
				○「アプリ」や「甲府市防災ポータル」など、防災情報を取得できるツールの周知に努める。【情報提供】	英・中・韓	なし	なし	防災企画課	ホームページや広報等において、周知に努めている。 ・アプリ：12,510ダウンロード（累計） （4月～8月）939ダウンロード ・メルマガ：5,112登録（累計）	ホームページや広報等において、周知に努めている。 ・アプリ：13,112ダウンロード（累計） （4月～12月）1,541ダウンロード ・メルマガ：5,049登録（累計）	ホームページや広報等において、周知に努めている。 ・アプリ：13,587ダウンロード（累計） （4月～3月）2,016ダウンロード ・メルマガ：5,073登録（累計）	B		継続	「アプリ」や「甲府市防災ポータル」など、防災情報を取得できるツールについては、広報やHP内、ラジオ等で防災情報の周知に努めた。
				○甲府市総合防災訓練の宿泊訓練等において、外国人担当職員を配置して実施することにより、外国人住民が参加しやすい訓練とする。 ○大学などの学生や市内に居住する外国人を対象とした防災講話を実施する。	日本語のみ 多言語	なし 対応	山梨県観光文化一部国際観光振興課 ①大学、山梨県国際交流協会 ②自治会	地域防災課	①総合防災訓練は11月実施予定（宿泊訓練は実施しない） ②防災講話は実施未定	①総合防災訓練は宿泊訓練を実施しなかったほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を限定してしたこと、外国人住民の参加はなかった。 ②大学の留学生や市内に居住する外国人を対象に、防災教室を2回開催し、43名の外国人が受講した。	①総合防災訓練は宿泊訓練を実施しなかったほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を限定してしたこと、外国人住民の参加はなかった。 ②大学の留学生や市内に居住する外国人を対象に、防災教室を2回開催し、43名の外国人が受講した。		B		継続
			○甲府市洪水ハザードマップ英語・中国語・韓国語版を窓口等に設置。	英・中・韓	なし	なし	防災企画課 ・道路河川課	多言語化対応版（英語・中国語・韓国語）については作成済み。 今年度の洪水ハザードマップ見直し業務においても、多言語化対応版（英語、中国語、韓国語）を作成予定。	多言語化対応版（英語・中国語・韓国語）については作成済み。 今年度の洪水ハザードマップ見直し業務において、「AIを用いた災害用多言語同時通訳サービス」のデモンストレーションを実施した。	洪水ハザードマップ見直し業務により、令和3年度に作成予定であった更新版ハザードマップの多言語化対応版（英語、中国語、韓国語）については、予定通り原稿の作成が完了した。今後は令和4年度の6月にホームページ上で公開するとともに、印刷の完了する7月から各窓口等への設置を開始する予定。 市民課及び山梨大学と協働で、「AIを用いた災害用多言語同時通訳サービス」のデモンストレーションを実施した。		A		継続	設置先の充足状況を確認し、不足の生じそうな箇所には補充を行った。
			○防災に関する活動 ・市内の大学や専門学校等の留学生を対象とした防災教室を行う。	英・中・韓・ポルトガル・タガログ・日	対応	山梨県国際交流協会	市民課	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視し、開催を検討中である。 なお、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」内で防災教室を開催予定。	留学生のための防災教室 令和3年12月14日山梨大学にて開催 学生参加者数 35名	留学生のための防災教室 令和3年12月14日山梨大学にて開催 学生参加者数 35名	B		継続	10月15日に「留学生のための防災教室」の開催に向け、大原学園甲府校、山梨県国際交流協会、防災指導課と連携し開催した。	

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	令和3年8月末現在の進捗状況	令和3年12月末現在の進捗状況	令和4年3月末実績	評価	C判定の理由	令和4年度 事業の方向性	(参考) 令和3年3月末実績	
■安全で安心して暮らせるまちづくりの実現 基本目標1	1-2 災害・防災への支援整備	2	多言語支援のための応援体制の整備 ○多言語支援のための応援体制の整備 ・山梨県災害多言語支援センター山梨県国際交流協会と協議する中で、外国人に対応可能な防災リーダーの育成を検討していく。	日本語のみ	なし	山梨県観光文化部 国際観光振興課	防災企画課	山梨県観光文化部 国際観光振興課を通じて、国際交流協会からフェイスブックを通じて防災リーダー育成研修会への参加を呼びかけてもらったが、受講希望者がいなかった。	山梨県観光文化部 国際観光振興課から国際交流協会を通じて、後期に開催する防災リーダー育成研修会への外国人の参加を呼びかけてもらったが、受講希望者がいなかった。	山梨県観光文化部 国際観光振興課から国際交流協会を通じて、前期及び後期に開催する防災リーダー育成研修会への外国人の参加を呼びかけてもらったが、受講希望者がいなかった。	B		継続	新規	
		3	感染症に関する多言語の情報提供(継続) ○感染症の情報提供 ・甲府市ホームページの翻訳機能を活用することで、多言語による情報発信が可能となることから、感染症に関する最新の情報をホームページに掲載するよう努めている。	英・中・韓・ス・ポ・タイ・仏・ヒ	なし	なし	医務感染症課	○感染症の情報提供 ・甲府市ホームページの翻訳機能を活用することで、多言語による情報発信が可能であることから、最新の情報をホームページに掲載するよう努めた。	○感染症の情報提供 ・甲府市ホームページの翻訳機能を活用することで、多言語による情報発信が可能であることから、最新の情報をホームページに掲載するよう努めた。	○感染症の情報提供 ・甲府市ホームページの翻訳機能を活用することで、多言語による情報発信が可能であることから、最新の情報をホームページに掲載するよう努めた。 発信回数：52回	B		継続	出入国在留管理庁等の情報など、新型コロナウイルス感染症に関連する文書等を相談窓口へ配置するとともに、市ホームページにおいて情報を発信した。 発信回数：52回	
		4	自主防災組織等への外国人市民の参加促進 ①大学などの学生や市内に居住する外国人を対象とした防災講話を実施する。 ②甲府市総合防災訓練への参加を促進する。	多言語	対応	①大学、国際交流センター 山梨県国際交流協会 ②自治会	地域防災課	①未定 ②11月実施予定	①大学の留学生や市内に居住する外国人を対象に、防災教室を2回開催し、43名の外国人が受講した。 ②総合防災訓練は宿泊訓練を実施しなかったほか、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を限定してしたこと、外国人住民の参加はなかった。	①大学の留学生や市内に居住する外国人を対象に、防災教室を2回開催し、43名の外国人が受講した。 ②総合防災訓練は宿泊訓練を実施しなかったほか、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を限定してしたこと、外国人住民の参加はなかった。	①大学の留学生や市内に居住する外国人を対象に、防災教室を2回開催し、31名の外国人留学生等に研修を行った。 ②総合防災訓練は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して実施し、外国人を含めた一般市民の参加を見合わせた。	B		継続	
		1	生活関連情報の提供 ○甲府市外国人生活ガイドブック【情報提供】 ・甲府市に住む外国人向けに、様々な手続きや知識を掲載し、情報提供に努める。	英・中・韓・ポ・ス・日、ベ	対応	—	市民課	・生活ガイドブック(7言語)の冊子とQRコード付き多言語版チラシを外国人相談窓口へ設置。ホームページにも掲載。 ・【新規・臨時】QRコード付き多言語版チラシを、市内の外国人世帯にも掲載。 ・転入手続きの際に、生活ガイドブック(7言語)、ゴミの出し方(QRコード付き多言語)、自治会加入のお願いチラシ(英・ポ・韓・ス・中)を配布している。 ・ゴミの出し方の多言語版を、本庁舎と各窓口センターに設置している。	・生活ガイドブック(7言語)の冊子とQRコード付き多言語版チラシを外国人相談窓口へ設置。ホームページにも掲載。 ・【新規・臨時】QRコード付き多言語版チラシを、市内の外国人世帯にも掲載。 ・転入手続きの際に、生活ガイドブック(7言語)、ゴミの出し方(QRコード付き多言語)、自治会加入のお願いチラシ(英・ポ・韓・ス・中)を配布。 ・ゴミの出し方の多言語版を、本庁舎と各窓口センターに設置している。	・生活ガイドブック(7言語)の冊子とQRコード付き多言語版チラシを外国人相談窓口へ設置。ホームページにも掲載。 ・【新規・臨時】QRコード付き多言語版チラシを、市内の外国人世帯にも掲載。 ・転入手続きの際に、生活ガイドブック(7言語)、ゴミの出し方(QRコード付き多言語)、自治会加入のお願いチラシ(英・ポ・韓・ス・中)を配布。 ・ゴミの出し方の多言語版を、本庁舎と各窓口センターに設置している。	A		継続	・新たにベトナム語版を作成し7言語とした「甲府市外国人生活ガイドブック」について、冊子とともにQRコード付き多言語版のチラシを外国人相談窓口へ設置している。また、市ホームページへガイドブック(7言語)を掲載した。 ・外国人の転入手続きの際にガイドブック、「ゴミの出し方」(いずれもQRコード付多言語版のチラシ)、自治会加入へのお願いチラシ(日・英・ポ・韓・ス・中)を配布している。 ・ゴミの出し方のQRコード付多言語版のチラシを各窓口センターに設置し、在住している外国人に対して情報提供している。	
情報の多言語化と相談体制	3	2	多言語による行政情報の提供 ○やさしい日本語での対応を的確に翻訳されるよう努める。 ○ホームページの多言語への対応(自動翻訳や音声読み上げ)		対応	なし	情報発信課	コロナ禍でのさまざまな情報をわかりやすいやさしい日本語対応での提供に努めた。	ホームページ更新については、アクセシビリティのチェック(音声読み上げ時にエラーにならないようにするためのチェック)を確実にを行う方法へ変更した。	ホームページ更新において、アクセシビリティのチェック(音声読み上げ時にエラーにならないようにするためのチェック)を確実にを行う方法へ変更した。	A		継続	多言語翻訳や多言語音声読み上げ機能に正確に対応できるようやさしい日本語での情報提供に努めた。	
		3	日常生活における相談窓口の設置 ○外国人相談コーナーの設置 ①外国人とその家族等を対象に、英語・韓国語・中国語を話せる3名の外国人相談員を配置するとともに、その他の言語に対応するため音声翻訳システムを活用し、日常生活における相談に対応していく。 ②就学相談は、学校教育課と連携し不就学児童・生徒が生じないように努める。	①②英・中・韓 ポルトガル・スペイン 10言語：英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン)	対応	①なし ②学校教育課	市民課	①入管手続き等の通常の相談に加え、ワクチン接種や支援金申請など、新型コロナウイルス感染症に関連した相談に対応した。12月末 1,275件 アンケートは令和4年2月より運用開始した。 ②就学相談は12月までは実績がなかった。 外国人の中学生・高校生向けの在留資格等の解説動画について情報提供を行った。	①入管手続き等の通常の相談に加え、ワクチン接種や支援金申請など、新型コロナウイルス感染症に関連した相談に対応した。相談件数 1,742件 (内訳：面談1,587件、電話155件) アンケートは令和4年2月より運用開始した。 ②就学相談は実績がなかった。 外国人の中学生・高校生向けの在留資格等の解説動画について情報提供を行った。	①在留手続き等の通常の相談と合わせ、特別定額給付金等の申請手続きなど、新型コロナウイルス感染症に関連した相談に対応した。相談件数1,317件 ②教育・進学相談等で教育委員会からの要請がある場合、通訳を行い、連携を図っている。	A		継続		

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査票（令和4年度 事業計画）

資料4・5

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい日本語	支援・関係団体等	担当課	令和3年8月末現在の進捗状況	令和3年12月末現在の進捗状況	令和4年3月末実績	評価	C判定の理由	令和4年度 事業の方向性	(参考) 令和3年3月末実績	
基本目標1 ■安全で安心して暮らせるまちづくりの実現	1-3 情報の多言語化と相談体制	4	ゴミの出し方の案内 ○ごみの出し方【情報提供】 外国人住民に、多言語による「ごみの分け方・出し方」の冊子を 提供し、ごみの正しい出し方の周知を図る。	英・中・韓・ポ・ ス・タイ・ベトナム	なし	減量課	減量課	ごみの分別冊子は継続して市民課等を通し 配布している。ごみ袋への多言語表記もR3 年度より開始し流通している。	配布部数 英語 45冊 中国語 160冊 韓国語 36冊 ポルトガル語 5冊 スペイン語 5冊 タイ語 5冊 ベトナム語 5冊	配布部数 英語 56冊 中国語 171冊 韓国語 37冊 ポルトガル語 6冊 スペイン語 16冊 タイ語 6冊 ベトナム語 9冊	B		継続	環境センター、市政情報コーナー、 転入受付窓口等で随時配付	
		5	多言語による外国人市民に対する公営住宅入居の促進 ○公営住宅の入居者募集案内等【情報提供】 多言語による公営住宅の入居者募集案内等の広報の充実 に努める。	英・中・韓	対応	市民課外国人相談担当	住宅課	入居手続きについて多言語版の使用はな かったが、入居後ごみの分別冊子を複数の 世帯に配布した。	入居希望者へ入居申込み説明書 (英・中・韓・やさしい日本語版) と入居時確認事項(英・中・韓・ ス・ポ版)を作成したが、使用は1件のみであったが、 それ以外は、やさしい日本語を交えた説明で、問題なく対応できた。	入居希望者へ入居申込み説明書 (英・中・韓・やさしい日本語版) と入居時確認事項(英・中・韓・ ス・ポ版)を使用するとともに、やさしい日本語を交えた説明で対応した。 また、やさしい日本語の説明が 難しい場合は、市民課の外国人相談 担当職員に同席してもらい対応した。	B		継続	また、入居希望者で、多言語化 (英・中・韓・やさしい日本語)した 資料等を使い、やさしい日本語での 説明が難しい場合は、市民課の外国 人相談担当職員に同席してもらい 対応した。	
			○外国人のための保険料納付相談 ・甲府市在住の外国人においては、制度が理解できない為、保険 料が滞納となるケースも出てきている。このため個々の世帯の生 活状況に応じた納付指導を行っている。	英・中・韓・ポ・ ス・タイ・タ	対応	市民課外国人相談担当	健康保険課	やさしい日本語での対応を心がけるとともに、市民課との連携を図り納 付相談を行った。 納付相談:246件 また、新型コロナウイルス感染症の影響に 伴う減免申請に係る英語・韓国語の案内を 職員が自作し周知を図った。	やさしい日本語での対応を心がけるとともに、市民課との連携を図り納 付相談を行った。 納付相談:340件 また、新型コロナウイルス感染症の 影響に伴う減免申請に係る英語・韓 語の案内を職員が自作し周知を 図った。	やさしい日本語での対応を心がけるとともに、市民課との連携を図り納 付相談を行った。 納付相談:493件 また、新型コロナウイルス感染症の 影響に伴う減免申請に係る英語・韓 語の案内を職員が自作し、周知を 図った。	B		継続	やさしい日本語での対応を心がける とともに、市民課との連携を図り納 付相談を行った。 相談件数:483件 また、新型コロナウイルス感染症の 影響に伴う減免申請に係る英語・韓 語の案内を職員が自作し周知を 図った。	
			○外国人のための保険料納付相談 ・甲府市在住の外国人においては、制度が理解できていないた め、保険料が滞納となるケースがある。	英・中・韓	なし	市民課外国人相談担当	健康保険課 (高齢者担当)	納付相談は随時受け付けているもの、外 国人住民の納付相談実績0件。	納付相談は随時受け付けているもの、 外国人住民の納付相談実績0件。	納付相談は随時受け付けているもの、 外国人住民の納付相談実績0件。	B		継続	納付相談は随時受け付けているもの の、納付相談実績0件。	
		6	税・料の納付相談等の 充実	○外国人のための保険料納付相談 ・介護保険制度が理解できない為、介護保険料を滞納する場合は 生じている。このため、制度の理解を図り、個々の生活状況に応 じた納付指導を行っている。	英・中・韓・ポ・ ス・他	なし	英(滞納整理係職員) 中・韓(市民課外国人相談担 当) ポ・ス・他(翻訳アプリ等)	介護保険課	正確に内容を伝えるという点においては、 各言語で説明することが最善であるが、こ れまで機械翻訳は精度が低く、実用に耐え ない物が多かった。しかし、最新のAI技 術を活用した翻訳は充分実用となる物も出 てきており、それらを活用している。(中・ 韓・ポ・ス)	窓口や電話での納付相談では、リアル タイムでやりとりを行うことから スピードが要求され、絵文字を使用 する手法は馴染まない。納付相談に おいては世帯全体の収支状況を聞き 取る必要もあるため、日本語が話せ る家族や友人の同行が現実的であ る。(相談件数:5件) 文書による催告ではAI技術を用いた オンライン翻訳(ス・ポ)を活用して いる。(発送件数:5件)	英語圏は滞納整理係の職員が対応し ている。(対応件数17回) 英語圏外は滞納整理係の職員が一旦 英語に翻訳し、その後、オンライ ン翻訳(Google翻訳等)を利用して対 応している。(対応件数:8件)	B		継続	納付相談件数(電話・来庁) 24 件
			○滞納者の日本語の理解度に応じてわかりやすい日本語の使用を 行う。	英・中・韓・ポ・ス	対応	市民課外国人相談担当	滞納整理課	外国人65件の来庁相談に応じたが、日本語 が不自由な場合には通訳として知人等を同 伴しており対応に苦慮したことはなかつ た。	外国人120件の来庁相談に応じたが、 日本語が不自由な場合には通訳として 知人等を同伴しており対応に苦慮 したことはなかった。	外国人159件の来庁相談に応じたが、 日本語が不自由な場合には通訳として 知人等を同伴しており対応に苦慮 したことはなかった。	B		継続	やさしい日本語での対応を心がけ、 個々の世帯の生活状況に応じた相 談、納付指導を行った。	
			○外国人滞納者への納付指導 ・やさしい日本語での対応を取りながら、各世帯の生活状況に応 じた納付指導を行っている。	英・中・韓	対応	市民課外国人相談担当	住宅課	各世帯の生活状況・収入状況・未納額が異 なるため、未納明細等の資料を使い、やさ しい日本語で対応している。	未納明細書を使い、やさしい日本語 で説明し、特に問題なく対応でき た。	入居希望者へ入居申込み説明書 (英・中・韓・やさしい日本語版) と入居時確認事項(英・中・韓・ ス・ポ版)を使用するとともに、やさしい日本語を交えた説明で対応した。 また、やさしい日本語の説明が 難しい場合は、市民課の外国人相談 担当職員に同席してもらい対応し た。	B		継続	やさしい日本語での対応を心がけ、 個々の世帯の状況に応じた相談・納 付指導を行った。	
			○水道料金等の使用開始申込の促進 ・給水区域内に住む外国人向けに、使用開始手続きを促進するチ ランを配布する。	英・ポ・中・韓	なし	なし	営業課	無届で水道を使用している外国人に対し、 水道契約の必要性を正しく案内するこ とができた。(月平均で40枚程度配布)	無届で水道を使用している外国人に 対し、水道契約の必要性を正しく案 内することができた。(月平均で40 枚程度配布)	無届で水道を使用している外国人に 対し、水道契約の必要性を正しく案 内することができた。(月平均で40 枚程度配布)	B		継続	無届で水道を使用している外国人に 対し、水道契約の必要性を案内する ことができた。	

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査票（令和4年度 事業計画）

資料4・5

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	令和3年8月末現在の進捗状況	令和3年12月末現在の進捗状況	令和4年3月末実績	評価	C判定の理由	令和4年度 事業の方向性	(参考) 令和3年3月末実績
2-1	外国人市民の地域社会への参画促進	外国人市民の地域社会への参画促進	○自治会への理解・加入案内 ・市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、自治会活動への理解や加入促進に努める。	英・中・韓・ポ・ス	対応	市民課	協働推進課	やさしい日本語版や外国語版のチラシを市民課へ設置するとともに、転入者には市民課においてチラシの配布を行っている。	また、12月16日には市民課主催の異文化交流サロンにおいて、協働推進課職員から外国人住民等（合計8名）に対し、自治会についての説明と加入促進を行った。	やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を市民課において行っている。 また、12月16日には市民課主催の異文化交流サロンにおいて、協働推進課職員から外国人住民等（合計8名）に対し、自治会についての説明と加入促進を行った。	B		継続	やさしい日本語版や外国語版のチラシを配布し、自治会活動への理解や加入促進につとめると共に、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」にて自治会加入促進について説明を行った。
			○外国人留学生と日本の大学生及び自主防犯ボランティア団体の安全安心合同パトロールの実施	なし	なし	警察・山梨学院大学・ユニタス・自主防犯ボランティア団体	危機管理課	新型コロナウイルスの感染状況を注視する中で、検討している。	新型コロナウイルスの感染状況を注視する中で、検討している。	B (新型コロナウイルス感染症の感染状況から中止となった。)		継続	外国人留学生と日本の大学生及び自主防犯ボランティア団体の安全安心合同パトロールを12/18に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況から中止となった。	
		外国人市民の市政に対する意識啓発・醸成	○継続した情報の提供 ・市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、市政への意見制度について周知に努める。	英・中・韓	対応	市民課	協働推進課	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版や外国語版のチラシの設置を市民課にて継続して行っている。	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版や外国語版のチラシの設置を市民課にて継続して行っている。	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版のチラシを外国語版と併せて市民課へ設置すると共に、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」にて説明を行った。	B		継続	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版のチラシを外国語版と併せて市民課へ設置すると共に、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」にて説明を行った。
2-2	外国人市民の市政に対する意識啓発・醸成	外国人市民の市政に対する意識啓発・醸成	○情報の提供 ・甲府市の各関係機関の窓口へやさしい日本語や多言語化したパンフレットを設置するとともに、様々な機会を捉えてPRする。	英・中・韓・ポ・ス	対応	—	市民課	やさしい日本語や多言語パンフレットの設置により、地域住民に対し意識啓発を図っている。	・やさしい日本語や多言語パンフレットの設置により、地域住民に対し意識啓発を図っている。 ・令和4年度は、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」が日本人市民も対象者としていることをさらに周知し、参加者を募る。	・やさしい日本語や多言語パンフレットの設置により、地域住民に対し意識啓発を図っている。 ・令和4年度は、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」が日本人市民も対象者としていることをさらに周知し、参加者を募る。	B		継続	新規
		個別教育相談の実施	○児童生徒や保護者との教育相談 ・児童生徒や保護者の母語を話す日本語指導員等を介して、学校生活や進学等に関する教育相談を行う。	英・中・韓・ポ・ス	—	山梨県教育委員会	学校教育課	学期末の懇談等を利用して計8回実施 ・中学7回（懇談6回、進路指導1回） ・市教委1回（就学相談）	学期末の懇談等を利用して計33回実施 ・中学23回（懇談17回、進路指導6回） ・小学校4回（懇談4回） ・市教委6回（就学相談4回、翻訳2回） ※11月よりベトナム語、ネパール語の対応が可能に（学生通訳）	学期末の懇談等を利用して計40回実施 ・中学28回（懇談18回、進路指導10回） ・小学校5回（懇談4回、説明会1回） ・市教委7回（就学相談4回、翻訳3回）	A		継続	○小3校…10回（個別懇談、生徒指導等） 中5校…13回（個別懇談、進路指導等） 市教委…2回（就学相談、新入児保護者説明等） 全25回実施
		多文化共生・国際理解教育の推進	○外国語指導助手の招聘等 ・姉妹都市であるデモン市及び県内在住の外国語指導助手を市立小中学校等へ配置することにより、児童生徒への生きた英語学習機会を提供する。	英	—	デモン市教育委員会 クレア（JETプログラム国委託機関）	学校教育課	デモン市招聘ALT（外国語指導助手） 3名中3名来日配置済み JETプログラムALT 4名中1名来日配置済み (残り3名は9月、10月、11月に配置予定)	デモン市招聘ALT 3名中3名来日配置済み JETプログラムALT 4名中4名来日配置済み	現地採用ALT 12名 デモン市招聘ALT 3名中3名来日配置済み JETプログラムALT 4名中4名来日配置済み	A		継続	○現地採用外国語指導助手の任用 12名 令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○デモン市の外国語指導助手の招聘 2名 令和2年11月13日～令和3年3月31日 ○JETプログラムを活用した任用 1名 令和2年11月28日～令和3年3月31日
日本語の学習支援と充実	日本語指導の充実	○児童生徒への日本語指導 ・児童生徒へ日本語指導センター校配置教諭や日本語指導員による日本語指導を行う。	英・中・韓・ポ・ス	—	山梨県教育委員会	学校教育課	センター校教諭7名（市内4校がセンター校） ・市内の30校（小21、中9）で日本語指導 日本語指導員11名 ・市内の17校（小13、中4）で日本語指導	センター校教諭7名（市内4校がセンター校） ・市内の30校（小21、中9）で日本語指導 日本語指導員11名 ・市内の18校（小14、中4）で日本語指導 ※12月よりベトナム語の指導開始	センター校教諭7名（市内4校がセンター校） ・市内の33校（小23、中10）で日本語指導 日本語指導員11名 ・市内の18校（小14、中4）で日本語指導	A		継続	○センター校配置教諭5名が、日本語指導が必要な児童生徒93名を週120時間指導。 ○市が委嘱した日本語指導員9名が、初期の日本語指導が必要な児童生徒を中心に32名を週43時間指導。	
	進路指導・キャリア教育	○進路ガイダンスや進路相談の実施等 ・中学校生活において早い段階での進路ガイダンスや進路相談の実施等、高校受験に配慮した取組を推進する。	英・中・韓・ポ・ス	—	山梨県教育委員会	学校教育課	・中学3年生に日本語指導を通して、入試の情報や勉強のアドバイスを実施 ・1学期末の懇談等で保護者を交えての進路指導を実施（2学期以降も随時実施予定）	・中学3年生に日本語指導を通して、入試の情報や勉強のアドバイスを実施 ・1、2学期末の懇談等で保護者を交えての進路指導を実施（3学期以降も随時実施予定） ※11月よりベトナム語、ネパール語の対応が可能に	・中学3年生に日本語指導を通して、入試の情報や勉強のアドバイスを実施 ・1、2、3学期末の懇談等で保護者を交えての進路指導を実施	A		継続	新規	

基本目標2  
連携・協働による多文化共生の地域づくり

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査票（令和4年度 事業計画）

資料4・5

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	令和3年8月末現在の進捗状況	令和3年12月末現在の進捗状況	令和4年3月末実績	評価	C判定の理由	令和4年度 事業の方向性	(参考) 令和3年3月末実績
基本目標2 連携・協働による多文化共生の地域づくり	2-2 日本語の学習支援と充実	5 学校からの情報提供	○小中学校入学案内の発送 ・小中学校に入学する児童生徒の保護者に入学案内を送付。 ○入学案内を送付後、反応の無い世帯に対して家庭訪問を実施し、一家校への入学希望の有無や無い場合の就学先（インターナショナルスクールなど）の確認を行っている。	英・中（簡）・中（繁）・韓・ポ・スベ	対応	なし	学事課	入学通知書の発送日に合わせて入学手続きの案内文を該当する外国人世帯に発送予定（小学校10月4日発送予定、中学校11月4日発送予定） 今年度より、対応言語にベトナム語を追加入学案内送付後の対応は昨年までと同様反応の無い世帯に対し家庭訪問を実施し、就学先の確認を行う予定	※新小1分については、例年小学校に通学していない者に対してのみ送付。R3.11.1に住居登録を行っている新小1の外国籍児童は18名いたが、全員が小学校へ通学中だったため本年は対象者がおらず発送していない。案内送付後は、例年同様反応の無い世帯に対し家庭訪問を実施した。（対象：6世帯 実施日：12月22日）	基準日現在で甲府市に住居票を置いていない外国籍児童生徒の対象世帯に入学案内を発送。 （新小1分 10月4日発送） 2022年度新小1：R3.10.1現在 対象34名 2022年度新中1：R3.11.1現在 対象0名 ※新小1分については、例年小学校に通学していない者に対してのみ送付。R3.11.1に住居登録を行っている新小1の外国籍児童は18名いたが、全員が小学校へ通学中だったため本年は対象者がおらず発送していない。案内送付後は、例年同様反応の無い世帯に対し家庭訪問を実施した。（対象：6世帯 実施日：12月22日）	A		継続	基準日現在で甲府市に住居票を置いていない外国籍児童生徒のすべての対象世帯に入学案内を発送。 2021年度新小1：R2.10.5現在 対象27名 2021年度新中1：R2.10.5現在 対象28名
			○就学案内のチラシ（文部科学省）【情報提供】 ・外国人児童生徒のための就学ガイドブックの提供。その際、必要に応じて山梨子どもネットについても周知。	英・中・韓・ポ・スベ、フィ	なし	なし	学事課	左記に加え、ベトナム語とフィリピン語も必要に応じて配布		文部科学省の外国人児童生徒のための就学ガイドブックについては、概要版（文部科学省作成の各国語用）を窓口にて配布。山梨子どもネットについても、必要に応じて周知。また小学校入学案内に対象児童の国籍に応じた言語の就学ガイド（文部科学省）を同封して発送した。	A		継続	文部科学省の外国人児童生徒のための就学ガイドブックについては、概要版（文部科学省作成の各国語用）を窓口にて配布。山梨子どもネットについても、必要に応じて周知。
			○保健調査票等の配布 ・小中学校に在籍している児童生徒に対して保健関係諸用紙を配布	英・中（簡）・韓・ポ・ス	対応	なし	学事課	定期健康診断の際に配布		小中学校に在籍している児童生徒に各学校で適宜対応している。	B		継続	小中学校に在籍している児童生徒に対して、該当する言語で訳された保健調査票等を配布した。
	6 日本語の学習機会と情報提供	○日本で生活する外国人のための「日本語・日本文化講座」を開催する。	—	対応	山梨県立大学	市民課	6月6日より全20回を開催している。感染拡大状況を鑑み、回によっては延期等の対応をしている。	6月6日より全20回を開催している。12月末 15回。 感染拡大状況を鑑み、回によっては延期等の対応をしている。	B		継続	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催しなかった。		
		○「やさしい日本語サロン」（日本語・中国語講座）モデル地区（新田地区）住民が講師となる日常会話の講座を支援する。	英・中・韓	対応	—	市民課	実施主体であるモデル地区において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせている。	令和3年12月19日開催「やさしい日本語サロン」を支援した。同時に、マイナンバーカード出張申請を行った。	令和3年12月19日開催「やさしい日本語サロン」を支援した。同時に、マイナンバーカード出張申請を行った。	B		継続	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催しなかった。	
		○「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」を外国人相談員が中心となり開催し、日常会話・日本文化を体験していただく。 ①定期実施 ②外国人労働者を対象とした出前講座を開催する。	英・中・韓	対応	①なし ②市内企業に勤務する外国人住民	市民課	①10月19より4日（全8回）開催予定。 ②検討中	①10月19日より3日（全6回）開催した。2月2日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ②検討中	10月19日より3日（全6回）開催した。2月2日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	B		継続	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業規模を縮小し防災教室1回を開催した。	
		【情報提供】 ○日本語学習に関連した所蔵資料の利用・貸出等	英・中他	—	—	図書館	季節や国内外の時事、文化、風習、おすすめ本等をテーマとした関連資料の展示を月単位で実施している。また、関連図書の購入を行い、配架を行った。（購入冊数13冊）	日本語でも出版している関連図書の購入を行い、利用者に分かり易く、配架を行った。（購入冊数49冊）	選書基準に照らし67冊の関連書籍を購入。	B		継続	選書基準に照らし71冊の関連書籍を購入。	

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査票（令和4年度 事業計画）

資料4・5

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	令和3年8月末現在の進捗状況	令和3年12月末現在の進捗状況	令和4年3月末実績	評価	C判定の理由	令和4年度 事業の方向性	(参考) 令和3年3月末実績
■ グローバル化の推進 基本目標3	3-1	1	公共施設・生活関連施設の多言語化促進  ○宝石の街甲府のPR「KOFU NO KIRAMEKI MAP」の配布 ・中心市街地のジュエリー関連店舗等を紹介するマップを配布。 観光客等に中心市街地を回遊してもらい、活性化を図る。	英・中	なし	山梨県水晶宝飾協同組合	商工課	令和3年度版をR3. 8. 18に作成した。	11/24～26にアイメッセ山梨で開催されたジャパンジュエリーフェアで来場者に配布したほか、配布計画に沿って、観光案内所等に設置した。	11/24～26にアイメッセ山梨で開催されたジャパンジュエリーフェアで来場者に配布したほか、配布計画に沿って、観光案内所等に設置した。	A		継続	掲載企業、関係団体に配布済み (配布部数：1,900部)
			○公共サイン計画の推進 ・甲府市が設置する公共サインにおける多言語表記と表記基準の統一化を図るため、サイン所管部局に定期的な公共サインの点検を求め、交換や修繕が必要なサインについては公共サイン計画を適用したものへの更新を促し、また、新たに設置されるサインについてもサイン計画が適切に運用されるように設置部局と協議を行う。	英語外	—	なし	都市計画課	サイン所管部局に公共サインの点検を依頼した。また、既存公共サインの更新時期の目安を定めた「甲府市公共サイン整備方針」に基づく適切な維持管理を依頼した。	サイン所管部局に点検結果を踏まえ、交換等が必要なサインについては公共サイン計画を適用したサインへの更新を依頼した。また、交換等が必要ないサインについても計画的な更新を依頼した。	サイン所管部局に点検結果を踏まえ、交換等が必要なサインについては公共サイン計画を適用したサインへの更新を依頼した。また、交換等が必要ないサインについても計画的な更新を依頼した。	B		継続	サイン計画を適用した公共サインの整備を確実に、また、効率的かつ効果的に進めることを目的に「甲府市公共サイン等整備方針」を改定した。 (改定内容) 令和2年度に実施した点検及びチェックシートにより評価した集計結果を公表するとともに、判定結果(更新時期の目安)を参考に公共サインの適時適切な管理及び更新を各所管部局に「依頼する旨」を追記した。
			①甲府市観光案内所における多言語対応 ・甲府市観光案内所において、英・中(繁)・中(簡)に対応できる職員の配置と、無料Wi-Fiやタブレット端末(3者間通話や翻訳アプリ搭載)によるその他の言語への対応により、外国人観光客の更なる利便性の向上に努める。  ②多言語での情報発信 ・外国人観光客への情報発信について、ターゲットを踏まえ、ニーズに沿った発信方法や媒体を検討していく。  ③JNTO(日本政府観光局) ・平成29年度より加盟しているJNTOに対して、多言語による本市の観光情報を提供し、JNTOのSNS等で配信する。	①職員による案内【英、中(繁・簡)】 タブレットによる案内【英、中(繁・簡)、ポ、ス、タ、その他7か国語】  ②検討中  ③英、韓、中(繁・簡)、タ、その他2か国語	—	①(一社)甲府市観光協会  ②検討中  ③JNTO	観光課	①実施中 ②対応言語：英・中(簡・繁) ・主要観光スポットの周辺案内板等の改修予定(武田神社周辺・かいてらす周辺) ③JNTOにて3記事(慈恩寺・昇仙峡黄金池・板敷渓谷)を掲載	①実施中 ②対応言語：英・中(簡・繁) ・主要観光スポットの周辺案内板等の改修中(信玄ミュージアム・かいてらす) ③JNTOにて2記事(甲斐善光寺・甲州夢小路)を掲載	①観光案内所における外国人案内人数は117人である。 ②対応言語：英・中(簡・繁) ・信玄ミュージアム(武田通り沿い)に周遊観光スポットの案内板を新設した。 ・かいてらす駐車場の既存案内板を周遊観光スポットの案内板に改修した。 ③JNTOで6記事を掲載した。	B		継続	①観光案内所における外国人案内人数は115人である。  ②観光スポットの案内看板の多言語化を図った。武田二十四将屋敷跡案内看板 22基  ③掲載依頼件数は10件である。
3	無料公衆無線LAN環境の保守管理業務 ・市内を訪れる外国人観光客のサービス・利便性の向上を図ることを目的に、令和2年度までに整備した公衆無線LAN(無料Wi-Fi)の保守管理を行い、無料公衆無線LAN環境の維持に努める。	①ソリューション(主要観光施設4台)・・・日、英、中(繁・簡)、韓、その他1か国語  ②①以外・・・日、英	—	NTT東日本山梨支社	観光課	Wi-Fi設置数：277箇所	Wi-Fi設置数：277箇所	Wi-Fi設置数：277箇所	B		継続	Wi-Fi設置箇所は、277箇所である。		





令和3年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査票（令和4年度 事業計画）

資料4・5

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	担当課	令和3年8月末現在の進捗状況	令和3年12月末現在の進捗状況	令和4年3月末実績	評価	C判定の理由	令和4年度 事業の方向性	(参考) 令和3年3月末実績			
■ 外国人材の活躍と持続可能な社会の実現 基本目標4	4-1 地域活性化の推進のた	1 外国人集住地域等との連携	○情報活性化モデル地区の設置 ・外国人が集住しているモデル地区（新田地区）に対して、地区の自主運営を支援していく。	英・中・韓	対応	—	市民課	モデル地区からの要請に答えらるよう準備していたが、8月末までは要請はなかった。	（再掲）令和3年12月19日開催「やさしい日本語サロン」を支援した。同時に、マイナンバーカード出張申請を行った。	（再掲）令和3年12月19日開催「やさしい日本語サロン」を支援した。同時に、マイナンバーカード出張申請を行った。	B		継続	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催しなかった。			
			4-2 人材育成と労働環境の確保	1 ●関係機関との連携による就業支援（継続）	○ハローワーク甲府等の関係機関と連携し、就業促進を促す。	日本語、ポ、ス	対応	山梨労働局、ハローワーク甲府	雇用創生課	ハローワーク甲府等で相談業務を実施している。	ハローワーク甲府（外国人雇用サービスコーナー）等で相談業務を実施している。また、日本語を話せる外国人については、ワークプラザ甲府でも対応を行っている。	ワークプラザ甲府にチラシ等を設置した。ハローワークへの誘導を実施した。 ワークプラザ甲府で支援した人数は155人内就職者は85人（41歳以上対象者含む）であった。	A		継続	新規	
					2 ●起業促進のための情報提供（新規）	○情報提供を行い、外国人の起業の推進に取り組む。	日本語	なし	甲府商工会議所等創業支援機関	商工課	関係団体によるセミナー開催などの周知を図った。	関係団体によるセミナー開催などの周知を図った。	関係団体によるセミナー開催などの周知を図った。	B		継続	新規
						3 人材育成研修・講座の支援	○市役所職員のための「やさしい日本語講座」・外国人・日本人ともにわかりやすい日本語で接遇することを目標に職員を対象に実施する。（隔年）	なし	対応	一般財団法人自治体国際化協会	市民課	7月29日に実施し、福祉関係・防災関係職員を含む20名が受講した。	7月29日に実施し、福祉関係・防災関係職員を含む20名が受講した。	7月29日に実施し、福祉関係・防災関係職員を含む20名が受講した。	B		継続
	4 多文化共生に向けた外国人市民の人材活用	○多文化共生リーダーの育成 ・「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」における各種体験等を通して多文化共生のリーダーを育成していく。 ①定期実施 ②出前講座	英・中・韓	対応	①なし ②市内企業に勤務する外国人住民		市民課	①10月19日より4日（全8回）開催予定。 ②検討中	①10月19日より3日（全6回）開催した。2月2日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ②検討中	①10月19日より3日（全6回）開催した。2月2日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ②新型コロナウイルス感染拡大により実施できなかった。	B		継続	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業規模を縮小し防災教室1回を開催した。			
		4-3 留学生の地域における就職促進	1 地域における留学生の就職促進	○外国人（主に留学生）と市内企業の雇用にかかるマッチング機会を創出し、市内企業への就職を促進する。	日本語※チラシを英・中（簡）ポ、（予定）	対応	ハローワーク甲府、ハローワーク甲府管内4市1町	雇用創生課	10月20日の開催に向け、準備中である。	留学生の就職支援については、受け入れ企業の増加につながるよう、山梨県や他の参画団体と連携し、セミナーなどを行った。 就職ガイダンスは、ハローワーク甲府管内5市1町で主催し、甲府市総合市民会館で開催した。開催実績は、参加企業14社、参加者15名、就職内定者1名であった。当日は、山梨県行政書士会と共催し、行政書士による無料相談ブースも設置した。	留学生の就職支援については、受け入れ企業の増加につながるよう、山梨県や他の参画団体と連携し、セミナーなどを行った。 就職ガイダンスは、ハローワーク甲府管内5市1町で主催し、甲府市総合市民会館で開催した。開催実績は、参加企業14社、参加者15名、就職内定者1名であった。当日は、山梨県行政書士会と共催し、行政書士による無料相談ブースも設置した。	B		継続	ハローワーク甲府管内の5市1町の共催による就職ガイダンスを10月28日に総合市民会館で開催した。参加者数31名、参加企業17社、就職内定者数1名であった。		
				2 留学生に対する生活等に関する支援（継続）	○ふるさと納税を活用した、国際交流推進補助金により、留学生の生活支援や地域住民との交流イベントの実施	留学生の対応できる言語	-	市内4大学	国際交流課	新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら交流イベントの実施や生活支援を検討していく。	左に同じ	ふるさと納税を活用した国際交流推進補助金により、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえる中で、山梨学院大学では国際交流をテーマとした演奏会やコンテストなどが、山梨大学では、水際対策下での新規留学生の渡日支援等が実施された。	A		継続	新規	

留意事項  
多文化共生  
対応言語の種類  
やさしい日本語  
国籍や民族などの異なる人々が、文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと  
英語＝英、中国語＝中（簡）・中（繁）、韓国語＝韓、ポルトガル語＝ポ、スペイン語＝ス、タイ語＝タイ、タガログ語＝タ、その他＝他  
対応済＝「対応」、未対応＝「なし」、該当なし＝「—」

評価基準  
S評価  
前年の実績と比較し、同等以上の実績を上げかつ新たな事業を行った。  
A評価  
前年の実績と比較し、上回った実績を上げた。  
B評価  
前年の実績と比較し、同等の実績だった。  
C評価  
前年の実績と比較し、実績が下回った。